

# 団結の時とその印

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1963年-08月18日

1 こんにちは。今夜ここにいて、この場所に立つことは特権です。

私は、今朝、道を下ってきていました...私は祈るために出掛け、主を待ち望んでいました。そして、道を下って来て、私は一ラジオをつけました、ラジオミニスターのスマス兄弟、黒人の兄弟(あなたは皆今朝彼を聞きましたか?誰かききましたか?)北の方だと思えます、それはオハイオ州だったと信じています。誰かが彼の説教について私に話していて、「彼のを聞くためにラジオをつけるべきだ」と言いました。

今朝、たまたま彼を捕まえた。そして彼は確かに罪が今日の世界でいかにあふれているかについて話していました、そして彼は...そして、私はそれから少し離れて、そこから局を変えて、降りて来て、そしてもう一つを聞きました。私がここに降りたとき、私は今朝入ろうとしたとき、教会に来るのが遅すぎないかどうかを確かめようとしていました。ですから、私たちは今夜ここにいて、主の奉仕のために仕えることを非常に光栄で特権だと思っています。

2 そして先日、ネヴィル兄弟と先日のメッセージについて話しました、この小さな女性、我々の姉妹が我々から出ていったことつまり、私たちは皆それが誰であるかを知っています、それはウィーバー姉妹です。そして、今夜ここにいてバプテスマを受けている男性について考えています。彼女は...私はこのプールで彼女にバプテスマを授けました...彼らは彼女をここに車椅子で彼女を連れてこなければなりませんでした。彼女はガンで死にかけていました、そして彼女はその晩しか生きる望みはありませんでした。医者は彼女をあきらめめていました、彼女は翌朝死ぬことになっていました。そして私は彼女の家に行き、神の癒しについて彼女に話しかけようとして、そして彼女は繰り返し続けました、「あなたが私の屋根の下に来るのはふさわしくありません。」彼女は言いました、「私は牧師が私の家に来るのにふさわしくありません。」彼女は言いました、「私は罪人です。」しかし、彼女は言いました、「先生、私はこのように死にたくはないのです。」そして、グレース・ウェーバーは、私をそこに連れて行ってくれました。私はちょうど集会から来て疲れて入って来ました。そしてそこで私が彼女のために祈っていて、彼女に聖書を読んでいた時、彼女は救われました。それから、彼女はほとんど手を上げることができませんでしたが、彼女はみんなと握手したかったです。彼女はただ...そして何かが彼女に起こりました。

そして、彼らが握手している間、私は彼女が鶏小屋に行つて戻ってくるという幻を見ました。私は「大丈夫、今大丈夫になる」と言いました。そしてそれは18年前のことです。そして、彼女はずっとその癌の前に行ったのです。彼女が死んだら...癌で死ぬことはありませんでした、彼女は心臓発作を起こして彼女を殺しました。彼らは彼女を酸素ボンベを使っていました。彼女は心臓発作で亡くなりました。

3 そして、私が考えていたのは、最後に人々が出かけるときに、彼らは、歌っていたのです「その時イエスが来られた。それがまさに起こった事でした、彼が来て、その18年の間彼女の命を長くしてくれました。そして、私は、どれほど適切かと考えました。その女性はおそらくそのようにしていたことを知らなかったでしょう。そしてまた、彼女は知っていたかもしれません。しかし、その部分をそこに置くことがどれほど適切であったか、その時イエスが来られた。

4 さて、それは少し前のことです。私は、集会に参加できることを望んでいました。本当に緊張していました。今朝、私はとても心配していて、私は祈るために上がって行きました。そして、私は家にいます、ここに戻ります。家族は彼らをアリゾナに連れて行ってくれました、そして私は...それから子供達は学校に行くのです。そして、私はここに戻ってきました。ある意味リラックスするために、ウッド兄弟とここにいる兄弟たちと一緒に狩りに行きます。今週は狩りに出かけます。ケンタッキー州に行きます。そして、私は...にいた...私がたまたま来た日ちょうどにウィーバー夫人が亡くなりました、そして私がここにいて、その葬式でネヴィル兄弟を助けることができたのは良かったです。

5 そして私は...そうしようとしていたわけではありません私は、不満を言う人々の周りでそれについてあまり言い過ぎないようにします。私が思うに、最も恐ろしいことの1つは、常に不平を言っている男性または女性を見ることです。私はいつも「神よ、私をそこから遠ざけてください」と考えていました。ほら、それがいつも信仰を弱めているのです、分かりますね。あなたは—あなたはただ...あなたなら—あなたなら...彼らが年をとるにつれて、私たち一人一人は何かが起こるし、何かが起こるだろうことを知っています。そして、私はそれらの小さなことが蓄積し続けることを知っています、それはあなたが年をとるにつれて、ただそうなるわけです。しかし、私は最も恐ろしいことの1つは、サタンがある人の命を戴冠することだと思えます。気難しい老人あるいは老女、分かりますよね。私—その場所にたどりつかないように願っています。私が自分の重荷を負う

ことが来てその場所に行く私の人生は神の栄光で戴冠していて欲しいのです、彼の寛容さ、優しさ、平和、柔和さ、そして聖霊に満たされていること。

6 そして、私は…私の人生を通していつも私を傷つけている私の主な事柄の一つは、緊張した状態でした。それは私があまりにも疲れると、それから私は本当に心配してしまうのです。私は…誰もあなたを気にかけていないような感じがします、そしてあなたは皆…あなたもそれを持っています。そして、私はたまたま本当にそれを過剰摂取をしているだけです。ご存知のように、いつかは本当にひどくなり、私はほとんど…それは緊張であり、それがそうさせるのです。そして、私はその場所に何度も行きます、特にそれらの幻の多くと共に、分かりますよね、それはただ私を捕まえるのです。私は人を見て、思うのです「これは幻だといいえ、いいえ、いいえ、そうではありません。はい!そうではありませんか?」分かりますか?そして、あなたはそれが対価がどうなるかを実感していないだけです。それで、それからあなたも、あなたは不思議に思います。それからあなたは「まあ、あなたは…」と考えるようになります。それからあなたはあなたの側から降りて言って、「さて、さて、今、何をしましたか?私が何をしたのですか?私はここにいます、私は50歳で、主のために何もしていません。と私—私は年をとっています。そして、何を…?ああ、何という事。」その後、私たちが以前「ブルース」と呼んでいたものを手に入れます。私の年齢の兄弟の何人かは、彼らが「痛みを持っている」と呼んでいたことについてを覚えています。ポップはそれについて話していました、そして私は彼が何を意味するのか疑問に思っていました、そして私は今彼が何を意味しているのか確かに分かります。だから、あなたはそのように感じるようになりますが、そのどれも真実ではありません。それはあなただけです、あなたはそれをご存知です。ほら、あなたはそれを知っています、それはあなたがしているだけなんです。

7 だから、私は今、少し静かにしようとして、準備をしていました。その大きな押しがまもなく来ることを期待しています。そして…その時そうでなくても私はすぐにニューヨークに行かなければなりません、そして私はそこでの打ち合わせや、キャンペーンに行きます。そしてシュリーブポートに降りて、フェニックスに戻ります。そして、西の辺り…アメリカの南の国境にいきます。そして、彼らは今、海外向けの準備をしています。年の初め、多分3月、4月のように、できるだけ早く始まるようにしています。ストックホルムかオスロから始めて、次のツアーに参加できるなら世界中を回ります。

8 そして今、私は家に帰っています。ある種少し休んで、自分自身に戻って、少し落ち着きを取り戻しています。そして、もし主の御心であれば、私は次の日曜日にケンタッキーから戻ってきます。そして、もしそれによろしければ、主を喜ばせましょう、そしてネヴィル兄弟は気にしないでください。ええと、もし主がお望みならば、私は来週の日曜日に礼拝をするように努めます。そして、もし彼がネヴィル兄弟と同じくらい喜んでいたら、私はここにいます。はい、そうです、もし主がネヴィル兄弟と同じように望まれているならば、私は彼がそうであることを望みます。さて、ほら、私はすぐに私が知りますね、もし主がお望みならば、私はあなたからかなりの間離れて行くことになっています。

9 そして、私は…少しメッセージを伝えます。心の中で何かを拾うと、その時、私は私がそれをあなたに伝えたいと感じています。ほらね、そして私たちはその周りで交わりを持てるのです。さて、私は彼らをかかなりの数持っています、最後の数日間で私のところにちょうど来た5つか6つありました。そして、私はここで数日出かけました、ここでリス狩りをしました。そして私は森に入って、鉛筆と紙を持っていきます。分かりますか?さて、それは日当たりが良くなる頃に、どこかの木に戻ります。私が眠らない場合、私は祈り始めます、そしてその時主が私に何かを与えて下さるのです、私はそれについての小さなメモを書き始めます、分かりますね。あなたは私が何を意味するか知っています。あなたが自分自身に到達したとき、そしてあなたは…それからここに来て、それをすべて紙のタブレットに書きつけるのです。そして、私が呼び出されたとき、私は使い果たしたのでタブレットを得て、それを調べて、何を始められるか見ていきます。それがちょうど今起こったことです。

10 だから今、私は、もし主がお望みであるならば、ただ話したいと思います…私は…それらの大きく、長いメッセージを切り取ろうとしているのです。何時間もかかるところです。そして、主は私がシカゴでそれのかかなり短い仕事をするのを助けられました、シカゴでの最後の夜、約30分。そして誰かがやって来て言いました、「私はそれがあなたの中にあるとは思わなかったが、あなたがそれをしたのです!」つまり2時間半か3時間から30分にしたんですよ。だから私は今夜急いで少し練習することができます。あまりにも長くあなた方を縛り付けないためにも。

11 神の祝福がありますように。どこに行ったとしても、この幕屋のような場所は決してありません。それは家、優しい我が家なのです。そして、私はウィーバー家とともにお悔やみを感じています。そして、亡くなられたこの尊い黒人の兄弟と一緒に、私は彼が行く少し前に彼と一緒に祈りました、素晴らしい人格でした。そして彼は今、神と一緒に家にいます、そしてそれはすべて終わりました。とにかくあなたは行かなければなら

ないでしょう、そして私たちは皆それを知っています。ですから、私たちは…主が彼らの魂を安らかに休ませられますように。いつの日か、私たちは病氣、悲しみ、死のない国境を越えて共になることを期待しています。それまでは、福音のためにできることはすべてやりましょう。

12 緊張と言えば、私は今朝それについて祈っていました。緊張がなかったらどうしますか？考えてみてください。緊張は生活の一部です。そう思ったとき、ある種励まされました。緊張がなければ、人形のように感情がなくなるでしょう。あなたが取り組むことができるものは何もありません。夫と妻のように、もし彼女が何かをしたいと思っていて、彼らが一緒に仕事をしようとしているなら(特にクリスチャン)、そしてもう一人は…をしたいのですそして、あなたが一緒に来るとき…あなたは彼女が何をしたかを見つけます。彼女が見つめるのは…ほら、緊張は本当にあなたがたを互いに近づけます。そして、誰かがあなたに「まあ」と言った、「あなたがそれほど良くなかったときに多くの緊張を受けた小さな妻、またはあなたがあまり良くなかったときに夫が緊張したことを考えてください。それから、それがすべて許されるとき、あなたが彼についてどのように感じたか見てください。何とも、あなたはただ…」ほら、緊張していたに違いない。それだけなのです。

13 そして、感情について考えてみてください。もしあなたが何も感じていなかった、痛みがない、または何もなかった場合はどうでしょうか？全く痛みがない場合はどうなりますか？あなたは全然感情がないでしょう。分かりますか？そして、もしあなたが感情を持っていなかったら、あなたの感覚の一つがなくなってしまうでしょう。分かりますか？とにかく、すべてがとにかく正しいです。ですから、「神様、ただ私たちに立ち上がるための恵みを与えてください」ということなのです。その恵みに立ち上がってそこに立ち、「この人生が終わったとき、偉大な人は私たちが行きたいと思っている反対側にいることを知っています。」そして今、私たちは—これらすべてが緊張していることを覚えています。

14 それで、一部の人はキリスト教を紹介しようとします、「あなたは心配する必要はありません。あなたは…」いいえ、違います。「あなたは緊張から解放されています。」ああ、違います！あなたはクリスチャンになるときに緊張を加えます。なぜなら、あなたは一種の垂れ狂いだったからです。そこにあるものは何であっても、あなたがやったことを気にしていませんでした。

しかし、あなたが本当のクリスチャンになったとたんに、いつでも「主よ、私はあなたを喜ばせていますか？彼から話を聞くことができたら！」それはあなたを緊張させ、あなたを警戒させます。それがあなたをあなた自身にしてくれるものです。結局のところ、緊張は祝福です。それはちょうどあなたが見ている方向です。それはあなたがそれを見ているやり方というだけです。分かりますか？反対側を見れば、そこには…どんなに薄くスライスしても、まだ両面がありますね。だからあなたは両方の側面を見たいです。

だから緊張…「ああ、それは…この緊張は何ですか？もし私がこの緊張なしに生まれていたら。」と考えています。まあ、もし私がこの緊張を持っていなかったら、私は今の私の状態ではなかったでしょう。おそらく私はクリスチャンではなかっただろう。この緊張が私をイエス・キリストに導いたのです。分かりますか？ですから、それは私にとって祝福の的でした。

15 ですから、パウロが言ったように、緊張や何かがあるとき、彼は主に相談して、それを彼から3回取り除くように頼みました。そして主は言われた、「サウル、わたし…パウロ、わたしの恵みはあなたに対して十分である。」

彼は言いました。「そしてわたしの力は弱いところに完全にあらわれる」だから私が弱いときにこそ、私は強いです。」分かりますか？それが神の御心でさえあれば大丈夫なのです。

今、私は一度彼に相談しましたが、それが私をとて困らせていたので、私は怖がっていました。そして、彼は私に、約8年か10年前に言われました、「それが二度とあなたを怖がらせることはないでしょう」。そしてその後そういうことは起こっていません。いいえ。だからそれについては 心配しないでください。私はそれを感じています、しかし私はそれがそこにあることを知っています。でももはや恐れはないのです、そのことを感謝しています。さて、彼は「もはやそれはなくなるだろう」と言うだけでなく、「あなたはもはや怖がることはない」と言われたのです。

ですから、それが起こるのは彼の御心なので、私はそれを受け入れて、「主よ、感謝します、私はそのように歩きます」と言います。

16 さて、祈りのためにちよつと頭を下げましょう。祈りの特別なリクエストはありますか？(ここにハンカチが置いてあるのが見えます。)手を挙げてください。主よ、あなたの子供たち一人一人を祝福してください。

我らの天のお父様、来るようにと言われたので、あなたの偉大なる恵みの御座に今近づいてまいります。私たちはイエス・キリストへ来ています。そしてすべての心配事共に来て主の下にそれらを置くのですと言うのは彼は我々の事を着にかけておられるからです。彼が私たちを気にかけていることを知るの、なんと素晴らしい慰めなのでしょう。偉大なる天の神、創造主。彼の創造物は私たちを気にかけて世話して下さるのです。主よ、私たちはそれをとても嬉しく思います。私たちが生きているこれらの時代において、あなたの言葉だけから慰めを引き出すことができることが分かる時、なんとという慰めでしょう。それが私たちの慰めです、あなたの約束です。そして、あなたの約束の中で、あなたは私たちの要求を知らせて、そして「なんでも私の名前で尋ねるならそれをかなえてあげよう」と言われました。そして、これらすべての大きな約束は次のとおりです。「尋ねなさい、そうすれば受け取るであろう」この山に「動け」言いなさい、疑わないで、そうすればそれは動くであろう。」これらすべての約束、そして私たちはそれから私たちが求めているものだけを引き出すことができます。

手が拳がっています、主よ、彼らには何か必要があります。あなたは彼らの必要を知っています。父よ、それを供給してください。私は彼らと一緒に祈りをあなたの前に置きます、私の手を彼らの手と共にあげます。ここにこの机の上にハンカチが置かれています。ああ、信仰を持つ人々、勇敢な信仰、主よどうなのでしょう。か病気の人のために祈ることができるように、あなた方が私に祝福してくれたもののようです。どこでも、どこでも、どこへ行っても、病人のために祈ることには何かがあるのです。神よ、今助けてください。ここに置かれたこれらのハンカチのリクエストを、人々が求めているものを与える下さるようにと心から祈ります。あなたの憐れみが彼らの上にありますように。

17 主よ、ヒックス姉妹がここにある女性を連れてきていることを理解しています、その彼女は、祈られるために癌があつてどこかから飛行機で来られていますそしてここに来ることが可能かどうかを知りたいのです。神様、あなたがその人の命を救って下さるようにと祈ります。認めて下さい。私の小さな甥のマイキーは、高熱を出して病気であちらの方で寝ていて、嘔吐していました。ドアを出たところです。主よ、私は一あなたがそれを止めたという信仰の祈りがあつたと信じています。そして一私はあなたに感謝しています、部屋を出る前に少年の熱が下がったのを感じています。

さて、主よ、そしてこれらすべてのことをあなたに感謝します。さて、あなたの御言葉について話す私にいたっていた時間を超えてしまいました。主よ、あなたのみことばをください。「あなたの言葉は真理です。」私たちの魂を祝福し、私たちに、今週の残りの期間を通して維持していただくために、今夜、神の約束からそれを御言葉で引き出す私たちに必要な恵みを与えてください。認めて下さい。私たちの牧師を祝福してください、この勇敢な魂、彼の妻、彼の子供たち、ディーコン、経理トラスティー、そしてこの建物に出入りするすべての人達を。父よ、認めて下さい。イエス・キリストの御名によって、これらの祝福を求めて祈ります。アーメン。

18 さて、主の書物の二箇所から読みたいと思います。まず詩篇第86篇から読みたいです。そして、マタイによる福音書16章の1節から3節までを読みたいと思います。そして、私はこの詩篇の一部を読みたいのですが、すべてではなく、11節まで、それは半分より少し超えています。

もしあるテキストを統一の時と印と言うテキストで説教する前にテキストとしてお知らせしたいのです。「団結の時のしるし」、それはちよつと複雑に聞こえます。団結; 分かりますね? 時; 団結の時、それが今なのです。そして、その団結の時のしるし。

19 詩篇、ダビデの祈りで、第86篇の中で。

主よ、あなたの耳を傾けて、わたしにお答えください。わたしは苦しみかつ乏しいからです。

わたしのいのちをお守りください。わたしは神を敬う者だからです。あなたに信頼するあなたのしもべをお救いください。あなたはわたしの神です。

主よ、わたしをあわれんでください。わたしはひねもすあなたに呼びわります。

あなたのしもべの魂を喜ばせてください。主よ、わが魂はあなたを仰ぎ望みます。

主よ、あなたは恵みふかく、寛容であつて、あなたに呼ばれるすべての者にいつくしみを豊かに施されます。

主よ、わたしの祈に耳を傾け、わたしの願いの声をお聞きください。

わたしの悩みの日にわたしはあなたに呼ばわれます。あなたはわたしに答えられるからです。

ああ、美しくないですか?「あなたは私に答えるられるからです。」

主よ、もろもろの神のうちあなたに等しい者はなく、また、あなたのみわざに等しいものはありません。

主よ、あなたが造られたすべての国民はあなたの前に来て、伏し拝み、み名をあがめるでしょう。

あなたは大いなる神で、くすしきみわざをなされます。ただあなたのみ、神でいらせられます。

今聞いてください。

主よ、あなたの道をわたしに教えてください。わたしはあなたの真理に歩みます。心をひとつにしてみ名を恐れさせてください。

20 私は今、団結について話しています、時のしるし。さて、マタイによる福音書の16章。

パリサイ人とサドカイ人とが近寄ってきて、イエスを試み、天からのしるしを見せてもらいたいと言った。

イエスは彼らに言われた、「あなたがたは夕方になると、『空がまっかだから、晴だ』と言

い、また明け方には『空が曇ってまっかだから、きょうは荒れだ』と言う。あなたがたは空の模様を見分けることを知りながら、時のしるしを見分けることができないのか。

主がこのみことばの朗読に大いなる祝福を加えてくださいますように。

21 さて、私たちはこの団結、団結の時について話しています。団結の時のしるし。ほら、イエスはここにおられました、この最後の聖書の朗読では、彼は時またはその時のしるしを見分けることができなかつたとして聖職者を叱責していました。さて、あなたが生きていた時のしるしを見分けることができることは、人々にとって常に素晴らしいことです。神がそれを明白に書かれているので、誰もそれを逃れることができないからです。

22 さて、通常、私は戻って、聖書の時代に他の主への奉仕者達、主の僕たちから選びます(ノアの時代の印、ダニエルの時代の印など、様々な象徴)。今夜はそれを迂回して、時間を節約し、できるようにしたい…しかし、それは常に神のやり方であり、彼らに「時の自然なしるし」を与えることで、誰もがそれが何時であるかを知ることができました。そして、これらのパリサイ人たちは彼らの時代を知っているべきでした。彼らはその時が何時であったかを知っているべきでした。彼は別の場所で、「もしあなたがわたしを知っていたら、わたしの時代を知っていたら」と言いました。わかりますか?それは、私たちが理解していることは素晴らしいことなのです。「悟りを得ることなしに」わかりますね。

23 それは彼らが常に預言者たちに言及したことです、と彼らは言いました、そして「彼は主からの幻によって悟っていた。そして、主の御言葉は古の預言者達に来ていました」ほら、彼らは主の言葉を通して、預言者たちによって理解を得ていたのです。そしてその時預言者たちはしるしを与えます。同様に、一人の人が長い間彼の側に寝ていて、それからひっくり返して反対側に横になりました。一人の男は彼の服を破り脱がなければなりません。そして、ああ、彼らが生きていたという印を示すために彼らがしたことはたくさんあります。そして今、私たちは天と地を創られた神が、そして彼の業を彼の時を印で表すように彼の業を置かれていたことを知っています、その同じ神は今日生きておられるのです。だから私達は何かでなければなりません…私たちが見るように、私たちが生きていた時には、誰かが見落としている何かがあるに違いありません。わかりますか?なぜなら、神はこれらのことを私たちに明確なしるしとして我々が悟りに至る場所に与えずには起こさせなかったからです。

24 さて、今日ここにあるのは、その聖職者、私たちはそれを正しく読んでいません。それは当時のようで、

彼らはそれが時だとは考えていませんでした。彼らは、彼らは彼らがかかなり平和に生きていると思っていたので、彼らは全く救世主を探していませんでした。そしてイエスは、人々が彼の来ることを知らないとき、彼は「夜に来る泥棒のように」来るであろうと言われました。しかし、彼に会いに行った処女の何人かがいました、彼らの半分は、彼らのランプに油を持っていて、準備ができていました。彼らはそのしるしを見守っていました。そして、今夜私が話しているのは、今、そのしるしを探している人たちに、彼の到来のしるしのことなのです。

25 主によって与えられたこれらのしるしは、信者にのみ与えられます。不信者はそれを見ることはありません。彼らはそれらの真上に行っていて、彼らはそれを見ることにはないのです。そして今、確かに、今夜、神の御使いがこの説教壇の上に立つことができるのと同じくらい確かです。私があなたを見ているように、私はそれを見ているかもしれません。または、あなたがそれを見ている私がそれを見ることができなかつたか、私がそれを見てあなたがそれを見ることができなかつたのかもしれませんが。さて、あなたはそれが聖書であることを知っています。それはまさに真実です。彼らは見ました…あなたはパウロが倒れたことを知っていますが、彼らは…彼らの誰もその光を見ることはできませんでした。

26 ヨハネが群衆の前に立っていたとき、その光はそこにありました、そして何千人もの聖職者と賢人、偉大な人々が川の土手にいたのです。そしてジョンは彼自身、神の御霊が鳩のように降りて降りてくるのを見た記録と、「これはわたしの愛する子、わたしのが喜んで宿っている者である」と言った声を持っていると言いました。そしてヨハネ以外の誰もそれを見ていませんでした。分かりますか？それは彼のためだけでした。

あなたはその賢者たちのしるしがかかなり鮮やかであることに気づいていましたか？彼らは見ました、そこにあったもの…彼らはヘブライ人でした。彼らは本当はインドの天文学者ではなく、ヘブライ人でした。彼らはその国で天文学を勉強していて、彼らの教育を終えるためでした。そして、彼らが…エルサレムに目を向けたとき、彼らの誕生の道の各々で3つの星を見たことが分かっていたのです、それはハム、シエム、およびヤペテ、彼らがそれぞれの人種であり、彼らはそれらの星を彼らの誕生の道の中で見ていたのです。それは彼らへのしるしでした、それらの星が並んでいたとき、メシアが地上にいたということなのです

27 ああ、何と素晴らしい！彼らが来たのも不思議ではありません。「彼はどこですか？ユダヤ人の王としておうまれになった方はどこにおられるのですか？私たちは彼の星を東で見え、彼を拝むためにここまで来ました。彼はどこですか？」彼らは、その乳児のメシアがどこかに横たわっていたことを知っていました。神が彼らにその時のしるしを与えたので、神と人は一緒になっていたからです。神が人間の体の中で自分自身を団結させた時、なんとという団結だったのでしょうか！そのトップである、これまで行われたすべての団結の中で最大のものは、神が人と団結したときでした。そして彼を去りました一彼は神であることの彼の大きな緊張と彼のテントを伸ばし、そして人類を受け入れ、そして彼らを贖うためにその一人になったのです。団結。それは何ですか？それは神と人間の間で永遠の平和をもたらしました。私たちはどれほど感謝していることでしょうか。

28 そして、しかし送られていませんでした…さて、ただ考えてみてください、すべての人、そしてすべての天文学者。その時代の人びとにとっての、時計は星でした。塔の上には見張り人が上がっていて、彼はそこに上って立って見ていました。そして、彼は特定の星が特定の星座にあったときに、それらが通過しているときに、それが何時であるかを知っていました。聖書の中にある「見守る者。それは何時ですか？」を覚えておいてください。そして、その見守る人は戻ってきて、それが何時であったかを彼に告げました。ほら、彼らは星によって時間を守っていました。

さて、これらの星がこの3人の男性に対して正確に並んでいて、他の誰もそれを見なかつたのは不思議ではありませんか？分かりますか？ちょうど正確に並んでいたのです。さて、聖書にしっかりと並ぶことができます。分かりますか？それらの星が団結し、この星座で彼ら自身が団結したとき、3人の男性も同時に団結しました。そして、これらのことが現実になるまで、あなたは神の言葉で神と一体になることができ、それらを見て、それらが真実であることを知る事が出来るのです。分かりますか？時のしるし！あなたがたは その上で見ながらにして「ああ、ナンセンス！」と言うかもしれません。

29 しかし、あなたにとってそれはナンセンスではありません。あなたにとって、あなたはみことばと一体となっていてここにいます。それで、それは、絶対的な光なのです、パット兄弟、いつ、いつ、いつ、あなたがこのしるしが信者と一致するのを見る時なのです。そして、私がこれを宛てている相手は信者です。不信者は決してそれを見ることにはないからです。そして、もし彼が今日地上にいたならば、それはどんな非難でしょう。今日この印を読むことができない多くの聖職者たちに。私たちがここで幕屋で毎日読んでいるもののにしるしを見えています。そして、他の人はそれを読んで壁に手書き文字を見えています、それでも多くの人はそ

れを無視し、まったく見ていません。彼らにとっては何の意味もありません。彼らはそれに気づきません。

30 さて、この中で彼が国のしるしを指摘されたことに注目してください。さて、彼らがこれについて彼に尋ねたとき、彼らはしるしを望んでいました。そして彼は彼らに起こったしるしを与えました。そして、彼らはいつ世の終わりが来るのか、終わりのしるしは何なのかを知りたがっていました。そして彼は、国のしるし、天にある天的なしるし、地上のしるしについて、聖書を通して多くの場所を彼らに示しました。彼は彼らに印、印、印、絶えず印を与えていました。そして、彼がそこで国のしるしについてある場所で彼らに告げていたとき、彼は言いました、「あなた方が諸国を見る時、エルサレムが軍隊に包囲されるのを見たならば、そのときは、その滅亡が近づいたときとみなさい。」

31 さて、彼らがこれを行う前に、神は…世界は団結していなければなりませんでした。テトス、この偉大なローマの将軍は、これらのユダヤ人が彼らの時に神から与えられたしるしを拒絶した後、彼の軍を団結させてやって来なければなりませんでした。それはテトスが彼の軍隊を団結させ、都市を奪取するようになった時です。まず、国家が神の民に対して団結する前に、神の言葉に対して(いわゆる)神の民の団結がなければなりませんでした。ほら、その結束、団結を見てください。共に団結する。

我々の生きている時代は偉大なる団結の時だと信じています。私はこれらの赤いライトを消して、信号とすべてを点滅させています(女性たちの彼らがどのようにしているか、そして男性達、彼らがどのようにしているか、そして教会、彼らがどのようにしているか)、私の心をこめてこの小さなグループに示しています、主イエスの到来の直前、この偉大な預言的な時間に私たちは神の言葉に叶って並んでいると信じています。一緒に団結し、準備をしています。

32 さて、あなたは、テトスが…彼の軍隊を国と一緒にする前に、イスラエルが彼ら自身を団結させて、彼らがイエスがメシアであると信じないであろうことを彼ら自身で結束しました。彼らは彼を拒絶し、断り、十字架につけました。そして、その時彼らに送られた救いを拒否し、彼らはそれを行うために団結しました。さて、それを心に留めてください:時のメッセージを拒否するために、彼ら自身を団結させていたのです!彼らはそれをしなければなりませんでした。そして、彼らがそれをしたとき、その後、国への印が入ります。

国々は団結し始め、テトスはローマ人とギリシャ人の大軍を連れてきて、エルサレムの壁をつぶし、今そこにいる人々を追跡して、彼らは餓死しました。彼らは木から樹皮を食べていました。偉大な歴史家であるヨセフスが私たちに告げていました。そして、彼らは地面から草を食べていました。彼らはお互いの子供たちをゆでて、それを食べさせました。彼らが狂った人々だったのです、分かりますね。そして、ついにテトスが、エルサレムの周りの丘に後退し、そしてそこにいる人々は、これらの軍隊が行進しているのを見たとき、彼らは神の御意志をしているかと思っていました。彼らは、偉大なる主人である、主イエスが彼らにそれを言うことを聞くことを拒絶しました。

33 クリスチャン達はそのしるしを見て動いたので、クリスチャンは一人もそこで捕まりませんでした。分かりますか?彼らは言った、「そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ 屋上にいる者は、家からものを取り出そうとして下におりな。あなたがたの逃げるのが、冬または安息日にならないように祈れ。」冬の間、丘は雪で一杯になるからです。そして安息日には、扉が閉まり、門が閉まり、その状態で捕まったのです。分かりますか?私たちは、主が望んでおられるなら、神がそれらのことをどのようにしておられるかについて、そのタイトルにそって、まもなく話したいのです。

34 さて、注目して下さい彼は…彼らはそうなるように祈りました…その方法ではなく、イエスはそのため祈るように言われました、そして彼らはそこで彼らの一人を捕まえることはありませんでした。彼らは印を見たのでな行きました、そして彼らはいなくなっていました。それがその全てだったのです。

ああ、今日の教会は、私たちが生きている時代のしるしをどれほど見分けるべきなのか!一生懸命にカルバリーに逃げましょう。ある教会にではなく、イエス・キリストに。組織や教会の信条ではなく、神と一体になるのです。キリストと団結しなさい、それが彼であることを確認してください。あなたは何でも取ることはできません、それが彼であることを確実にしなければなりません。なんとという団結の時なのでしょう。

35 さて、私たちは彼らがメシアを拒絶し、彼ら自身を団結させ、彼ら自身をリーグに引きよせ、そして誰かが預言者としてイエスを受け入れたなら、彼らは教会から破門されるだろうと彼らに訴えました。生まれつき盲目だったの少年を覚えていますか?そして弟子たちは言いました、「誰が罪を犯したのですか?彼、または彼の父親、彼の母親ですか?」

そしてイエスは言われました、「この場合、どちらでもない しかし、神の御業が行われ、知らされるため

である。」

そして、覚えておいてください、彼らは父と母は言うことが出来なかったと言いました。彼らは言いました、「彼らはこれが私たちの息子であることを知っていますが、彼がどのように癒されたのかはわかりません。」なぜならばユダヤ人は彼を預言者であると告白した人は破門されると言っていたからです。

36 しかし、ご存知のようにこの少年への神の業はそのグループのものではなかったのです。そして、彼は言いました、「さて、あなたはこの人がどこから来たのかわからないことは私には奇妙なことです、なぜなら彼は私に視力を与えたのですから。」分かりますか？さて、彼はそれを言うことができました。ほら、それは神の御業でした。彼は癒されました、そしてまあ、彼はそうすることができました—彼はどこからも紐づけされていなかったのでもう告げることができました。彼がその業を受けた人であり、彼は確かに彼の人生で初めて見たのでした。

37 さて、ユダヤ人はイエスと、そして彼の救世主と彼の救世主のメッセージに敵対して団結しました。私たちは今、同じことが起こっているのを見ています。共産主義は、教会を破壊するために団結しており、それが教会がそれ自体を団結させた後、教会評議会、世界教会評議会において、メッセージ、みことばを否定し破壊するための唯一の方法なわけです！彼らは御言葉を拒否しました、教会がです！彼らは宗派の信条に反しているので、彼らはそれを受け入れることができません。どれほど沢山の火の柱が私たちにぶら下がっていても、人々の真っ只中に、または何人の人がいても、どれだけ多くのことが予告されて彼が終わりの時について約束したすべての大きなしるしが起こっていても、彼らはそれを受け入れることはできないのです。

38 ですから、彼らは今彼ら自身が団結しており、またあなたの牧師がここで、そして多くの人があなたがそれを読んで、彼らが…世界のエキュメニカルな動きを持っているとあなたに告げることができます。そして…ルター派の牧師がその上にいます。それは、災害が発生した場合、この近所で起こるでしょう。もし私たちがそのエキュメニカルな動きと団結しなければ、私たちの教会はもはや教会になることはできず、彼らはそれを物置に使うことができるのです。あるいは、私たちの兄弟の一人が誰かが死んだり傷ついたりするのを見て、彼に霊的な祝福を奉仕しようとするなら、私たちはそのために撃たれるかもしれません。まさにその通りなのです。私たちはこのエキュメニカルな動きのメンバーではないので、私たちは何かを奉仕したことで連邦刑務所に10年間入るといった罰が与えられる可能性があるのです。獣の印が見えませんか？分かりますか？分かりますか？

39 今、私たちはこの団結の時が来るのを目にしています。分かりますか？さあ、見て下さい！そして、教会はメッセージに対して団結しました。そしてそれがそれをするとき、国家は共産主義の中で彼ら自身を団結させて再び教会を破壊しています。そもそもそれがした事まったく同じことなのです。分かりますか？それは再び繰り返されます。

イスラエルはまずメッセージを拒否しなければなりません。そして、彼らがメッセージを拒否したとき、軍隊、国民生活は(他の国々の)一緒に団結し、教会に来て破壊しました。そして今日、彼らは主イエスのメッセージを断りました、そして彼らはそれを断りました。そして今、共産主義が教会に敵対して世界を団結させる時が来ています。ほら、そうでなければならぬ。今、そうを言うのは難しいです。

40 彼ら、ユダヤ人が信じるのは困難でした、彼らは言いました。「さあ、来て下さい兄弟よ、私たちの—私たちの神は私たちと共におられるので、私たちは神殿に入ります。そして今、私たちは祈り、そして聖父何某と聖父何某に祈りを導いてもらいましょう。門を閉めて下さい！」そして、テトスは彼の立場を取り、約1年以上の間そこに立っていました。ほら、ガードのところですぐに彼らを飢えさせてください。彼らのうちの一人も都市の外に出ることはできませんでした。そして彼らは飢えて死にました。そして、彼がそこに行き壁を引き裂いたとき、血が噴出して、そこにあるすべてのものを虐殺した川のように流れました。

41 さて、主の天使は旧約聖書に戻ってそれを預言し、それが起こると告げていました。そして、彼らミニスター達で聖職者であり、それに投稿されて人々にそれを告げるようになっていたミニスター達でした。その代わりに、イエスが彼らの間に立ったとき、彼らは彼を知りませんでした。ウサギの足を作ってみてください「私たちにトリックをやってみましょう、どのように行われるのか見てみましょう！証拠の印を見せてください。」分かりますか？そして彼は「私は…」と言われましたつまり、彼は多くのことをされましたが、彼らはそれを理解することができませんでした。分かりますか？そして、彼らが彼を彼らの…その時代のメッセージである彼を拒否したとき、彼らはその時代のメッセージを拒否しました。

彼らはその時代のしるしを見ることはできませんでした。そして、彼らの前に聖書の預言がなされ、彼ら

は「今から始めましょう!」と言いました。彼らは聖人と言われる人々でした。彼らはあなたが彼らの人生にあなたの指をさすことのできない人たちでした。彼らはそれではあり得ず、そうでなければ-その時代には-司祭になれませんでした。司祭はどんな小さなことでさえ石打の刑にされ殺されていたのです。ですから、彼は清潔で聖い生活を送らなければなりません。彼は何かのために石で打たれたのでそれをすることができませんでした。そして今、彼らは偉大な人達であり、人々の目の前で聖人でした、そしてそれでも彼らは入り、「今、私たちは…私たちは神を持っています、神は時代を超えて私たちと共にいました。私たちは彼の聖なる神殿に行きます。」それが神の聖なる神殿でした!しかし、ご覧のとおり、彼は彼の聖なる神殿で拒絶を受けました。分かりますか?「私たちは主の家に入っていきます。皆さんへブライ人は、私たちが選ばれた人種であることを知っています。私たちはここにいます。そして神は私たちの神です。アブラハム、イサク、ヤコブの神。彼は私たちと共におられるのです。彼は彼らからの割礼を受けていないペリシテ人から(それがそうであったように)彼らをローマ人とギリシャ人から私たちに救うでしょう。彼はそこから私たちに救い出します。主の家に入りましょう!」

42 良さげにきこえますが、彼らは何をしたのでしたか?家の建築者はそこにおいて、ガリラヤ式の大工の形でいて、彼らは彼を断りました。神がその時の彼の使者であることの彼とその枝を立証したときにでした。そして彼らはそれを拒絶したのでした。だから、すべての祈り、すべての誠実さ、彼らのすべての犠牲は神にとって何の意味もありませんでした。彼らはそれをしました!そして神はこの大軍を団結させて破壊させました。

そして今日、私たちは宗派などを通して教会が神のことばを断るのを見ているのです。彼らはあなたにこれらのことについてあなたに話してほしくありません、そして科学は写真や他のすべてによってそれを証明することができます、そしてそれでも彼らはそれとは何の関係も望んでいません。共産主義はそれを破壊するために形成されています、テトスがしたのと全く同じように、そして聖書は彼らがそうするであろうと言いました。その通り!

43 さて、あなたは私たちがどこで生きていのか分かりますか?団結の時。これらが団結しているのを見ると、ああ。つまり、私たちはそれらのものを見ることに失敗したわけです!あなたはできる—あなたはここで聖書を見て、彼がそれを約束したところ、彼が何をやるかを見ることができます。さて、私たちはそれが起こっているのを見えています。私たちは彼が約束したことを教会で見えています。私たちはそれが起こっているのを見えています。私たちは国々が団結しているのを見ます。その主義達が団結しているのがわかります。私たちは多くの教会が一緒になって団結しているのを見えています。団結の時です。それは団結の時代なのです。それが「私たちは団結しなければならない」という時代の霊なのです。あなたが話すすべてのものは組織化されなければなりません。そうでなければ 政府でさえそれを受け取ることはありません。

44 市民として…私は市民として、米国市民としてはできませんが、私は…5ドルの小切手をくれたら、私はそれに名前をつけません。分かりますか?ほら、できませんでした。ほら、それは団結の時です。それはすべてある種の組織を通過しなければなりません、そしてその組合はまさに獣の印をもたらしものなのです。分かりますか?団結の時です、そしてそれはそれまで完全に働いています。もしそれを見るならば、あなたは実際の目で見ることが出来るなら。それは、すべてが一体となる団結の時です。

45 ユダヤ人—ユダヤ人は彼らのように—彼らの救世主として、イエスに対して団結しました。それゆえに、何が起こったかがわかります。教会が世界教会協議会で団結し、メッセージ、神の言葉を破壊しようとした後、私たちは今、同じことを見て、共産主義が教会を破壊するために団結しています。彼らはそれを取り除こうとします。彼らができる唯一のことは、彼らが分離しているので、彼ら自身で評議会を作ることです。この小さなグループ、メソジスト派、バプテスト派、ルター派、長老派教会、キリスト教会などがそうなのです。彼らは何もすることができません、なぜならこれはこれに対して反対であり、これは他のものの敵対であるからです、彼らの教義は東から西へと同じくらい多くの違いがあります。ほら、彼らはそれを行うことができません。しかし、一度一緒になって、大きな頭の下で、彼らはそれを手に入れました。彼らはそれを得ました。

46 それがカトリックの団結におけるやり方であり、ローマ・カトリック、もちろん彼らは団結しているのです。彼らは…大多数はローマ・カトリックなのです。ギリシャ正教と他のカトリックは、ローマカトリックほどではないのです。今、彼らは団結し、それが彼らが一緒に立つ理由です。何が起ころうとも、教皇がすべての頭なのです。分かりますか?そして、他の誰が何を言っても、「彼は過ちのない人です。彼は一彼-彼は神の生まれ変わりなのです、それだけです。彼は神の次の立場にいます。彼は地獄、天国、そして煉獄の管轄権を持っています。」分かりますか?ですから、その場合にできることはありません。彼が何を言っても、彼は行かなければならないのです。

47 さて、プロテスタントは同じように彼ら自身をそのような頭にしています。そして、聖書は獣に作られたイメージがあったと言っていないでしたか？似せたものとは何ですか？それはそれと同じように作られたものです。そこにも同じことが言えます。それは何ですか？彼ら自身を団結させることによって、そしてこれが時代の霊であり、団結しています。

今、団結してメッセージを破壊しようとしています。彼らはどのようにそれを破壊しますか？彼らはどのようにして神のことばを破壊することができるのでしょうか？彼らは、初めにそこにあったように伝統を取り、神のことばを効果のないものにするによって、それを効果のないものにさせることが出来るのです。「ああ、それは…本当に、結局のところ、…」この異端者の女性が…彼女…それがしようとしていることは私は彼女の名前が今何であるかを忘れました、今もし 私はそれを呼び出すことができれば、彼女は…たくさんの事を考えようとしています。

48 先日、このミスナショナルについて考えていました。私は私たちがそのような別の人が立ち上がることを望んでいます。彼女は酒場に行ってウイスキーを引き裂き、看板やそのようなものすべてを捨てた人でした。なぜある女性が今日そのように立ち上がって、ここに出てきてこれらの裸の写真が彼女自身の人種であったりしているのを破ってしまうようなことがないのでしょうか？つまり、彼らはそれをもう持っていないのです。

49 さて、しかし、この女性、異教徒で、「聖書は憲法に違反しているため、公立学校でそれを読むこと」などと言っていました。

さて、彼らもまた、あなたが再び気づいたのですね、彼らは今、聖書の偉大な研究者たちが「聖書で預言された預言の多くは絶対に間違っていて、決して実現しなかった」と言っているのです。そして、あなたはそれについて聞いたり読んだりしましたね。そして、彼らはすべての事を言おうとしています。ほら、彼らはそのみことばの影響を破壊しようとしているのです。彼らがそれを破壊し、それに代わることができるのは、彼らの信条または人間たちが持っている何かであり、それが彼らの目にはみことばよりも良いようである場合、彼らはそれで彼らの伝統とともに御言葉破壊しようとしているのです。そして、彼らが神の言葉を破壊しようとしている方法がそれです、宗派政治によるものなのです。

50 現在、各教会には独自の政治があります。キリストの教会にはそれがあります、キリスト教の教会にはそれがあるのです、また、バプテスト派、メソジスト派、長老派があります。彼らはすべて異なる政治を持っています。今、彼らは離れているので、彼らはそれから離れています。ほら、それは以前は出来ませんでした、彼らは今はそれをしなければならぬのです。ほら、これが団結の時です。そして今、彼らは皆それをまとめてプールし、彼らが何を生み出しているかを見ているのです。何という事、それは馬の肉からパンを一斤焼き、缶からゴミを出すようなです。そしてそれを一緒に振って、腐ったジャガイモと物を一緒に投げて、あなたが何が出てくるかを見ているのです。私は絶対にそのどれも欲しくありません。絶対いりません！それが彼らのやり方です。見てください、彼らはイエスが神話であったと信じている人々、イエスが神話であったと信じている教会を使っているのです。他の人は、彼が預言者だったと信じています。

「奇跡の時代は過ぎ去った」と言う人もいます。

他の人たちは「そのようなことがあるかもしれない」と言いました。

51 そして、これらすべてを一緒に。そして聖書は、「ふたりの者が合意しなかったなら、共に歩くだろうか。」と言った。分かりますか？さて、それが彼らが得た種類の団結です。そして、何人かの偉大な神父たちをその上に置くようにすると、まさにあなたが獣に、聖書が言っているとおりイメージを手に入れることになるわけです。さて、彼らはルター派のミニスター、その頭を手に入れました。さて、私たちはそれが団結する時であることをみています。同じことが今、共産主義とすべてが一緒になっています。世界で、そして教会などで、団結しています。

52 自然を見てください。ああ、何という事！自然、自然を見ているだけでも同じことをしているのです。自然は神のしるしのカレンダーなのです。ご存知でしたか？イエスは彼らに自然を見守るように言われました。海はうなり、さまざまなことが起こり、様々場所での地震、国々の争い、天のしるし、地のしるし、至る所にこれらの時代のしるしがあるでしょう。

雲を見てください。雲が暴風雨をもたらす前、あなたはどのようにそれがなされるか知っていますか？いくつかの小さな雲が集まり、1つの大きな雲を作ります。さて、これは風が少し集まって吹いて、他の方にも少し集まって風が吹いて、みんな一緒に吹くことによって、それからハリケーンになりました。分かりますか？それらは嵐になる前に一緒になるのですそうならなければならない。

アヒルとガチョウが母国を離れる前に彼らが団結するのを見て下さい。分かりますか？彼らは集まって団結します。あなたは彼らがこの池からその池へ、みな一緒に集まってここからあちらへと飛んでいくのを見ることができます。彼らは団結し、離陸の準備をしています。ほら、それはただ…自然であり、神が自然を創造し、自然は神の計画によって機能しています。自然が神の法則に従って機能するのは、神の書かれていない律法(法則)なのです。

53 ちょうど、葬式で、墓に落ちる樹液が木の根の底にあるように、春の復活までそこに横たわるように。それは神の律法(法則)なのです。どんな知性もその樹液をそこに落とすことはできません。あなたはそれを排出することができず、あなたはそれを搾り出すことはできませんでした。神がそれをする以外にそれをする方法はありません。神は完璧な方法を持っておられるのです。それで、葉が落ちると、彼はその樹液を墓に送り、それを隠します。ヨブが言ったように、「あなたの怒りが過ぎ去るまで、私を墓の中に隠して下さい。」分かりますか？それは霜の前の自然の法則だからです。葉を見て下さい今、落ち始めています。なんで？それは自然の法則です。

54 アヒルは皆で集まり、リーダーの周りで結集します。そこでは彼らはどういうわけか知っていますが、私は彼らがそれをどのように行うかはわかりませんが、彼らは特定の小さなアヒルが彼らのリーダーであることを知っています。そして、その小さな仲間、彼らは皆一緒に集まり、彼の周りに集まり、空中に飛び上がって行くのです。そして、彼は…今までその池から出たことはありませんが、彼はルイジアナ州かテキサス州にまっすぐに行くように、田んぼに行きます。ほら、彼らが飛び始める前に、その年生まれた場所から家を出るために、彼らが団結して集まるのです。アーメン！そういうことです。彼らのリーダーの周りで結集します。

55 人においてのその問題と言うのは、人は彼のリーダーを知りません。はい、そうなのです。彼らは宗派に結集し、司教や人の周りに結集しますが、彼らはリーダーであるみことばの聖霊の周りには結集しません。分かりますか？彼らは言うのです、「ああ、まあ、私は少し狂信的になるでしょうのを恐れています。私は間違った足に入って行くのを恐れています。」ああ、そう言うことなのです！もし小さなアヒルがこう言ったとしたらどうでしょう、「彼が羽を保つ方法が好きではありません。私が彼についていくなんで信じられない。」あなたは凍死するでしょう。その飛行と一緒に行かなければそこでつかまえてしまいます。それがそれ自体を結びつけるのです、自然がそうするのです。

ガチョウはともに集まり団結し、リーダーの周りに集結します。彼らは同じことをします。

56 ミツバチが群がっているのに気づいたことがありますか？ミツバチは、群がる前に、女王の周りで団結します。そうなのです。そして、彼女が行くところに、彼らも離れてついて行きます。はい！彼らは何をするのですか？彼らは群れの前で団結します。まさに；自然の全てがそうなのです！

魚は春になる前に彼ら自身は集まって団結します。海の中で、彼らを見つけることができます。それらは…私たちが「ハンピー(こぶ)」と呼ぶ鮭です。彼らがそこに上ってくるとき、その走りに入る前に、何万人もがその海に出て、あちこちからやって来るのです。海水ですが、彼らには実際には淡水魚です。そしてここで彼らは産卵期に行くためにその淡水にすぐに上がって行きます。彼らは上がって行って産卵するのです、約4年ごとにし、そして産卵するとすぐに死ぬのです。そして、彼らは彼らが死ぬためにそこに行くことを知っています、あなたは彼らを止めるためにできることは何もありません。彼らは魚のはしごや他のすべてのものを飛び越えて、死ぬことを知っているのです。しかし、自然の法則が彼らを作り上げていて、彼らがそこに上がって行き穴に産卵して死ぬことを知っています。そして、若いのがやって来て、何かが彼らを一緒にして、彼らが行く海に出て行くのです。それが団結していることなのです！それが法則なのです。神の法則を破ることはできません。

57 国々は、破壊されつつありますが、今のところ、彼らはこうすることになっているのです。私たちは国家の混乱の途上にあります。私たちは国家関係が崩壊しているのを見ています。年々、私たちはこの国が共産主義に飲み込まれているのに気づきます。この国は共産主義に飲み込まれています。そして、私たちの国では、共産主義との蜂の巣であり、それに引き継がれていくでしょう！ほら、そうなるでしょう、それを止める方法はありません。なんで？テトスを止められなかったのと同じ理由なのです。人々は神と彼の言葉を拒否しました。はい、そうです、つまり彼らはそれをするつもりです、そして私たちはそれがまさに進行中であるのを見ているわけです。

通常、数時間かかります。今でもうすでに30分くらい経っています。分かりますか？しかし、これらすべてを実現するために、私はただプッシュしています。それを家に帰ったら勉強して下さい。

58 注目してください、彼らは今団結しています。あなたは「ブラナム兄弟、それは本当ですか?」と言います。彼らはハルマゲドンの戦いに来ています。まさに彼らが何をやるだろうことに。分かりますか?そして今、彼らはそのために団結しています。それが私たちが国連や私たちが持っているすべてのものを得た理由です。西側世界が東側世界や共産主義などに対して団結し、すべてが一緒に団結しています。教会は団結しています。すべてが一致団結しているように見えます。団結し、彼ら自身が一致団結すること、それがわかります。

また、国のこのすべての団結、これらの兆候、国の兆候、私たちはこの世の中で見えています、様々な場所での地震、さまざまなものの団結。世がを一緒にし、人々を一緒にし、すべての教会を一緒にし、これらすべてを一緒にしようとしている間であることを見えています。そして、このすべての団結が起こっている間に、別の団結も起こっています。アーメン!それが今あなたに指摘したいことです。

59 神が彼の花嫁を団結されています。彼女は東と西、そして北と南から集まるために来ています。団結の時があり、それが今なのです。彼女は何のために団結していますか?携挙。アーメン!神は彼女を整えて準備しています。はい、団結しているのです!彼女は何と一致団結していますか?御言葉と!「すべての天と地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びることはない。」彼女は、宗派や他の誰かが何を言っているかに関係なく、主がこう仰せになられるという事と結ばれています。彼女は自分自身を団結させています。彼女は準備をしています。なんで?彼女は花嫁だからです。そうなのです。そして彼女は花婿と彼女自身を結びつけています、ほら、そして花婿は御言葉なのです。「初めにことばがあった。ことばは神と共にあった、ことばは神であった。そしてことばは肉体を取って現れ私たちの内に宿られた。」

60 そして、教会と花嫁と御言葉は、御言葉そのものが花婿の業を完成させるまで、一つになっているのです。アーメン!分かりますか?団結!「教会に参加する」ことではもはやありません。これ以上ではなく、すべてから離れてイエス・キリストに縛られることなのです分かりますか?それは団結の時です。神よ、彼の花嫁を団結させ、それを取り戻します。まさにその通りです。彼の約束の言葉を団結させるのです。

第二テサロニケ人への手紙、第二章; それは、この第5節では「また地のちりの中に眠っている者のうち、多くの者は目をさますでしょう。」そして、私たちは彼らと団結します(生きている人たち、死んでいる人たちと一緒に)。そこに立つ前に団結します。なぜならば花嫁は彼女がそこに着くことによって完全になるからです。生きている者達、御言葉と一体となっている者達、そして既になくなっていく者達が、そして、それはすべて一緒に来て、そこに上って行く前に団結の一つの素晴らしい結束隊を作ります。アーメン!

61 共産主義が台頭しなければならず、これらの他の事柄が台頭しなければなりません、そして教会は彼ら自身と世界の教会評議会のためにそこにいる国々が合流するとき、それ自身が団結しなければなりません。そして花嫁は神の言葉の下でそれ自身が団結しなければならないのです。それをするために、神がその国に対してするために、天国のしるしと教会に証明する事柄を送られました。アーメン。

62 神; 団結の時!はい、そうです。ああ、何という事!さて、今覚えておいてください。みことばの団結(再び団結)があり、「聖人たちに一度伝えられた信仰」を呼び戻します。復活回復!これはこの時代にしかできなかったことなのです。それができる唯一の時は今なのです。他の場所で攻撃されたことはありません。彼らは宗派のバカ騒ぎによって始まったのです。しかし、今は、あらゆる人種、すべての肌の色、すべての信条、聖霊のバプテスマによるキリストのもとでのすべてのこと、そしてみことばに戻るための時であるので、それは宗派のバカ騒ぎには属していません。

63 教会の団結する時!ああ、何という事!これらの組織によって海外に散らばっているすべての御言葉を団結させているのです、ローマのニカイアで最初の教会組織をした時以来、ルターが組織され、ウェスリーが組織され、残りのすべての教会を彼らが組織化しました。そしてそれを行うには、彼らは信条を採用しなければならなかった、そしてそれから神が何かを送ったとき、彼らはそれを受け取ることが出来ませんでした。だからこそ、今までそれをなすことは不可能だったのです。そして神は、終わりの時に、「父親の信仰が再び花嫁を回復させる」と約束されました。それはこのようになり、それはこの時以外にはあり得ないことでした。私たちの間にぶら下がっている火の柱である、主イエス・キリストのしるしと奇跡で、天からのしるしを見てください。そして、彼が私たちに話している間、それは完全にその場にいることに失敗することはないのです。アーメン!次に、私たちが立っている場所を見えています。団結の時!

64 私たちは国家が団結し、世界が団結し、共産主義が団結し、教会が団結するのを見えています。そして、私たちは神と彼の花嫁が彼と教会とが同じものになるまで彼自身を団結させているのを見えています。ハレルヤ!そのピラミッドのように。そうです!彼ら自身を一緒に団結しているのです、神の団結!なんで?かつて、

教会の初期の時代から、人々の間には火の柱はなかったのです。かつての教会時代以来、彼らが私たちが今日見ているものを見たことはありませんでした。そして、これは神が七つの封印を送ってそれによって私たちに印を与え、そして七人の御使いを天国から送った後にのみ可能になりました。そして、彼らの宗派に散らばった御言葉を取り戻し、それを再び神の言葉に結びつけ、彼の聖霊をもたらすために来られたのです。

65 イエスは言われた、「もしあなたがたがわたしとわたしの言葉に留まるならば何でも、欲しいことを私に尋ねるがよい、それはなされるであろう」。花嫁を御言葉につまり神と団結させているのです。教会と信条ではなく、教会とみことば、教会とみことば。花嫁とみことばが一つになりました。ああ、何と素晴らしい！なんと…何を回復させるのですか？ルターグループによって散らばっていた元のペンテコステ派の父の信仰。ルター自身ではありません。ルターでもウェズリーでも、偉大な創設者でもありません。しかし、彼らが去った後、教会が立ち上がって、彼らは…彼らがそれで何をしたのかというと、彼らはそれから組織を作りました。彼らは信条などを受け入れ、離れて行きました。そして、彼らを今日見てください、今、彼らはその世界教会評議会に参加しています。

さて、お分かりになるように、終わりの時には、今までになかったことが今起こっていることが見えるのです。ほら、それは神のしるしであり、このすべての団結は時のしるしなのです。さて、それを注意深く見て、確実に理解したいと思います。…彼らは本当の言葉を宗派に残します。御言葉を取る代わりに、さまざまな人の信条や意見を受け入れるためにです。

66 黙示録10章で、「七番目の御使いのメッセージ」と言っています。覚えておいてください、それは7番目のラッパのことで、7番目のラッパを吹く7人の御使いがいるのです。それが私たちが次に話そうとしていることです。しかし、そこには非常に具体的に「その御使い…」とありました。7番目の御使いのラッパではなく、「7番目の御使いのメッセージ」なのです。覚えておいてください。見てください、ラッパの御使いではなく、メッセージの御使い！ほら、その御使いはラッパを鳴らしたただけでした、その7番目の御使い、ラッパの御使い。しかし、これは、「7番目の御使いのメッセージの時代に」と言っています、彼のメッセージが終わったときを見てください。ほら、それが教会時代のメッセージです。このとき、彼は…トランペットではなくメッセージであり、「神の奥義(みことばに書かれている)は成就しなければならない。」

67 さて、私たちが生きているこの時代を見てください！それらの封印を見てください。それがどのようにその散らばった神の言葉を引き寄せたのか、ルターとそれらの残りすべてが、彼らが出て行った偉大な改革者たちだったのです。すぐに戻って、彼らがいる場所である聖書にそれを示しました。すべての人はその場において、彼が何をするか、そして教会に何が起こるか。彼は何をし、教会はどうなるでしょう。彼がやめたこれらすべてのもの。そして、終わりの時に、私たちがそれについて何も知らなかったとき、あることが起こっていることについて予告していました。そして新聞や物でさえそれを拾い上げて、すぐに来て、それを明らかにして、その奥義と一緒に結びつけています。アーメン！兄弟、それは私には崇高です！それは、私にはみことばと並んでいるのです。私は何かは気にしません。何か…、あるいは人々が言うこと、考えている事が気にかかりますが、私にとってそれは真実だと信じています。

68 バビロンから降りてきた賢者たちのように、彼らは叫びました。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおられるのか？彼は今、地球上にいます。私たちは彼を見つけなければなりません。」そうです。そして、私は彼が近づいてきていると私が言うことができると信じています、「見よ、花婿は来られる！真夜中の叫び声が聞こえます！」アーメン！私たちは終わりの時にいるのです。ああ、何という、私たちが生きているこの時代。注目。わかりますか？

なんという時代なのでしょう！私たちが生きている何という時代なのでしょう、この神の偉大な奥義が成就されるのです。神格が持つてこられ、それが何であることを示しているのです、いかにしてこれらの小さな主義が出て行き主をこれやあれやそれやにして行ったのです。しかし、主の御使いが降りてこられ、彼らのすべての主義を呼び起こし、その真理をそれから取り出して、それを示したのです。そして、そこには、それができると同じくらい完璧で、あなたが行く方法他にはありません。そういうことなのです、それが彼の存在の全てなのです。サーパントの種(子孫)などすべてを見てください。人々の間で非常に神秘的で奥義とされてきたこれらすべてのさまざまなもの。わかりますか？それは何ですか？彼は…これは何への印なのですか？団結！

69 マラキ4章で彼は何と言いましたか？取り戻す(回復する)！元のペンテコステの時の信仰を回復し、同じペンテコステのメッセージ、同じペンテコステの印、同じペンテコステの証拠、同じ神様、同じ力、同じ教え、すべてを正確に、パウロをダマスカスまでの道導いた同じ火の柱。今の時代に私たちの間で、彼はその時代と同じことをされました。団結！

私たちは国家が団結し、世界が団結し、教会が団結するのを見ています。私達は花嫁が御言葉と一致団結しているのを見ています。なんで？みことばは神です。そして御言葉として…花婿(みことば)と花嫁(みことばの聞き手)として、彼らは団結して一緒になるのです。彼らは結婚式のように団結します。ほら、彼らは結婚式の準備をしています、そして彼らは一彼らは一つになりました。みことばがあなたになり、あなたがみことばになる。イエスは言われました、「その日、あなたはそれを知るでしょう。父の全てが、私であり、そして、私のすべてはあなたなのである。そして、あなたのすべては私なのである。その日、あなたは私が父、私のうちのおられる父、あなたの内に私がいて、そしてあなたが私の中にいることを知るでしょう。」分かりますか？「その日」。いつの時代の事？この日(時代)！私達は明らかにされている神の大きな隠された奥義を見出さすのです。アー私はそれが何とも大好きだ！

70 ああ、科学とみことばが今日彼らがしているようには比較できない事に注目してください。彼らは以前からそれをするにはできませんでした。彼らがそれを行うことができたのはたった今なのです。

彼が「天のしるし、天のしるし」と言っていることに注目してください。科学、そして国家の兆候の数々、今、彼らは今日空に素晴らしい兆候を持っています、彼らは宇宙飛行士とすべてを持っています。しかし、これらの宇宙飛行士は世界の科学に対して何をしているのでしょうか？それは彼らに恐れをもたらしています。彼らはそのようなものを何時送ることができるかわからず、これらの爆弾を投下するだけで、その時には私たちはもはやいないのです。分かりますか？さて、それが彼らが得たしるしであり、天国での恐ろしい光景なのです。分かりますか？彼らはそれら、原子ミサイルとすべて、あらゆる種類の印を得ました。

71 あなたは彼らがこれに印をつけた場所が分かります - この条約、先日、彼らはこれ以上爆弾を爆発させないつもりだったが、今や彼らは水中で地面に降りて、それらを同じようにテストしているのです。ほらね？彼らは条約に署名します、「あなたがそれをしないと云ったら私たちはこれをしません(しかし私たちは家に帰ってこのようにします。私たちはその間にあなたがたがそこでも同じようにやっていることを知っていますが)。」分かりますか？何もないだけで、ただ…そこにはお互いに対する信頼もなければ、何もありません。何もないのです。あなたにできるのは…分かりますか？そして、誰もが他の人を怖がっています。それは恐ろしい兆候です。

72 科学と人間と国家は空に恐ろしい兆候を生み出しています。まさにその通りです。今、お互いを恐れています。そして、天国の印が…に与えられましたさて、彼らは天国にもある印を持っています、恐ろしい印、宇宙飛行士の男。原子ミサイルを持っているかもしれません、そして、国全体に落として破壊するかもしれません。宇宙飛行士が起き上がって行きそこで目立っているのです。彼らがそれをするのを妨げるものは何もありません。彼らは確かにそれをする事ができます、彼らは…彼らがしたいときはいつでも。彼らが望めば彼らは彼女をほこりの中に連れて行くことができます、しかし…今から15分で。そして人に何が出来るのでしょうか、他のひとがそのようになってもいる時に。だから、あなたは彼らがある兆候を持っているのを見るが、その種の兆候は彼らを怖がらせるのです。

彼らは団結し、力を結集しています。自由世界、彼らは権力を結集させています。共産主義は彼らの力をロシアと結集させているのです。誰もが、しかしながら、各人は他の人のしていることを怖れているのです。ほら、それは恐ろしい兆候です。そうなのです。それが国家の兆候であり、物事です。

73 しかし、教会は天の印として、宇宙飛行士を受け取りました！アーメン！火の柱の形の中にいたイエスキリスト。彼が旧約聖書でいた時のことです、彼がダマスカスへの道でサウルに会ったときにそうだったので、今日のイエスも変わらないのです！そして、それは何をしますか？それは恐怖をもたらしますか？それは愛をもたらし、お互いを結びつけます。アーメン！お互いに対する気持ち。それは神の愛をもたらし、ああ、私達を団結させ、私達キリストの体を花嫁として団結させます。それが今それがしていることです、神のなさるこの素晴らしい結束…

彼らは団結していて、一方のグループはもう一方のグループと戦い、もう一方のグループはこの向こう側のグループと戦っています。ここで教会は彼らの間に立っています。あなたは何が起こるかを見て、それが彼らと結託するのです。まさにその通りです。しかし、今、それが恐怖と不安をもたらすことがわかりました。

74 しかし、教会である花嫁は、神の聖なる一つの連合において、一つの神、一つの霊、神の霊の下で団結し、神に対する一つの聖なる花嫁となるのです。そうです、すべて一緒になり、体としての一致団結。花嫁として待っている肉体。として - それは花嫁であるので、私たち自身を花嫁と呼びます。花嫁の団結の時のために、教会はとても一緒になっているのです。それは私たちの間に愛を生み出すはずで、それでお互いが離れるのがむづかしいのです。そうなのです。私たちはただ…あなたが人々に祈るように乞う必要はありません

ん、あなたは彼らに神を崇拝するように乞う必要はありません、あなたは彼らに正しいことをするように乞う必要はないのです。彼らは他には何もなくなるまで、彼と近く恋におちているかのようです。

75 小さな女の子、本物のかわいいメイドは、彼女が狂ったように恋に落ちるハンサムな若い男と結婚することをどう思いますか？それは彼女にとって自分の命以上に意味があるのです、彼女はすぐに知りたいのです、彼らは結婚するつもりですから。その結婚式の日が近づくと、その小さな人に、私はあなたに言います、彼女は全てにおいて「歩き回っています」。分かりますか？彼女はすべてを準備しています。彼女は彼に完全に委ねるのです。そうです。彼を喜ばせるすべての事、それだけが彼女がしたいことなのです。さて、それは今日の教会のやり方であるべきであり、私たちの命はキリストを通して神に隠され、聖霊によってそこに封じ込められるべきです。

76 私がここであなたに教えてきたのは、これらの印と起こっているさまざまなことを話しているのです。私は今それを行う時間を持っていません。主がお望みであれば別のメッセージで話します。しかし、教会にはまだ足りないことが一つあります。そして、それを実現するために私たちはそれを望んでいて、私は今、その端に立っているのです。分かりますか？もしあなたがそれをしなければならぬなら、我々はそれに到達したいのです。あなたがそれをしなければ、それだけです、あなたはそれをしなければなりません。見てみると、その団結の時が近づいています。神が教会を統一して、大連合の結婚式に行くための携挙です。神と人が永遠に組み合わされ永遠に時の創造物が団結する時になるのです。

それはかつて地球上の人の子の形で行われました。そして、彼はイエス・キリストの花嫁のために、この同じ力で他の人を団結させる力をもたらすために彼の命を与えなければならませんでした。そして今、その教会はそれ自身をキリストの体と統一しているのです。それ自体は自由で、小さな足かせから切り離され、準備を整え。一緒になって、それらの間を統合させ、ああ、愛と喜びの内に、そしてその中で聖霊が動いているのです。ア－何という素晴らしい時なのだろうか！

77 アヒルが準備をしているのを見ました、ガチョウが準備をしているのを見ています。私たちは、獣が…準備をしているのを見ています、私たちは雲が雨の準備をしているのを見ています。どのようにそれが一緒に団結するか、その大きなプッシュのために。私たちは、国際連盟、国家の共同体が共産主義で団結しているのを見ています。私たちは彼らがここ西欧世界で団結しているのを見ています。私たちは教会が一緒になって、他のすべてのものと一体になるのを見ています。ですから、それは絶対に不可能なのです。他の時代には、このようにすることはできませんでした。20年前でさえ、このようにはできなかったでしょう。10年前はこのようにできなかったで、今でなければなりません。ほら、これらの主義と物事はこの場所に来ていなかったからです。

78 さあ目を覚まして！自分自身を揺さぶり、急いで、そしてここで我々がいまどこにいるのかを見なければ。我々はどこにいるのですか？それらの賢者たちのように、私たちは彼の言葉に一致しており、主の光が私たちの道を照らしています。いと高き神に栄光！そして、栄光は私たちにイエス・キリストを与え、私たちが愛し、私たちをこの場所に導いてくださった神にあります。そして私たちが…私たちは、彼の血の代価によって買われた彼の民なのです。

ああ、何と素晴らしい！団結の時が来たとき、私たちは彼の霊の絆で互いに団結しているように私たちは見えています…それは彼の霊となることが出来ますか？確かに、それは彼の御霊なのです。なぜですか？それは彼の御言葉であり、そして彼は…御言葉の霊だからです。そして、その約束の霊があなたに来て、正当化を証明し、ここにそれを示し立証するのは、それは同じ霊ではないですか？それは荒野でモーセと共にいた方でした！それはイエス・キリストにあった方でした！彼はダマスカスへの道でサウルと出会った方なのです！彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない方なのです！そして彼は同じことをされます！

79 そして私たちは国家を一緒に見て、私たちは教会の頭を一緒に見て、共産主義を一緒に見て、私たちはその主義の数々が団結しているのを見て、私たちはこれらすべてのものを見ています。そして今、私たちは花嫁がみことばと一致しているのを見ています。ああ、何と素晴らしい！聖徒達は今生きている者達と一緒にあがって行き永遠にイエスキリストと共に団結して行くための時なのです。

神が私たちすべてが今夜キリストと一致するように助けてくださいますように、私たちは私たち自身のすべて、私たちのすべての魂、体、そして心をイエス・キリストに委ね、その一致の時を探しています。

神のラッパが鳴り、もはや時間がなくなるとき、

そしてその朝は永遠になり輝き、うつくしいのです

キリストにあつて死んだ者たちが蘇り、(生きている花嫁と共に)向こう岸に集まり、

## 一緒に上がって行くとき

その団結を見てください!神は教会とみことば、御言葉と協会を一致させ、両者が同じになるようにさせるのです、「これを言いなさい、それは起こるであろう」これをせよ、そうすればそれは起こるであろう。これだけなのです。これはわたしがあなた方の前にいて、わたしがそれを証明している。これがわたしがあなたと共にいるということなのです。」よし

80 私たちは今、ラッパが鳴る時に来て、眠っている聖人たちがそこに戻ってきたとき、私たちがなしでは全きものとはならないのです。彼らは私たち(ヘブル11章)に依存しています。そして、彼らが一緒になるとき、彼らは生きているものと団結するのです。教会はみことばと一致し、それから教会とみことばが一緒になって、一つになります。死んでいる聖徒達は生きている聖人と団結して一つになるのです。そして、すべてが一緒になって、子羊の婚宴のために、キリストと共にかなたで団結するのです。

81 それは団結の時であり、印が至る所に飛んでいるのです。しるしは国々にあり、しるしは共産主義にあり、しるしは西洋世界にあり、印は世界教会評議会にあります。そして、その印は今夜、聖霊の庇護の下にあり、神のことばがそれを確証し、それを真理とするのです。アーメン!団結の時!団結の時のしるし!

頭を下げましょう。

82 主イエスよ、私の苦しんでいる心が喜びのために跳びあがるとき、私が(自分の中年の男としての)可能性を見るとき、それでも私があなたがこの世代に来る可能性を私が見ていて、生きていてここに立って、そのラッパの音がいつ鳴るのかを見てください。「穢れたものは穢れたことを行い。義なる者はさらに義を行う。聖なるものは聖なることをさせるままにさせよ。」主なる神さま!

そして、私たちが一瞬で瞬く間に立っていると考えると、世界で何が起こっているのか分からなくなりますが、突然、あなたの前にすでに死んだあなたの愛する人が現れるのです。再びあなたと団結するようために降りてきたのです。そして、私たちは瞬間に瞬く間に変えられて。そして、一緒に、空中で私たちの主に会うために上がって行くのです。そして、その時彼と団結し、永遠にそこにいて、二度と彼のご臨在から離れる必要がなくなるのです。

83 主よ、今日、私たちが一つの霊として結ばれていることを知ることは、何と素晴らしいことでしょう。一つの霊、聖霊が我々の中に来て御言葉を彼の手の中に握っておられるのです。そして、それがなんと素晴らしいことでしょう、全世界から解放され、私たちがイエス・キリストに団結されるという偉大なる特権です。そして、いつの日か、彼自身の輝かしい体のような肉体の形で、私たちは婚宴の食卓に着き、彼と結婚して式をします。いつまでも続く、永遠に永遠を通して、花嫁と花婿として生きるのです。

主なる神様、これは人々にとって単なる神話的な考えではないかもしれませんが、そのような飢えと渇きが人々に起こり、彼らが新聞を読んだり、ラジオやニュース、そしてそれが一致する時間を見るように現実のものとして下さいますように。その印は点滅しています。

84 主なる神様、私たちが女性たちについて話したように、彼らが終わりの時に何をするかです。最後に教会が何をするか;そして、これらの他のすべてのことに関して、教会時代が何であり、封印が何であるかなどすべてのこれらの他のことについて。そして、ノアの時代にあった事を今見ているのです。ソドムとロトの時代に、神の御使いが人間の肉体の中にいた事で知られるようになったとき、牛の肉を食べ、牛から牛乳を飲んでパンを食べていたことわかります。そこに立って、彼の後ろで何が起こっているのかを知ることができました。そしてイエスは、同じことが人の子の到来の時にも起こると言われました。

主なる神様、私たちがピラミッドを見て、どのようにピラミッドを構築し、どのようにこれらのものを加えてきたかを見ました。そして、私たちが終わりの時に隅のかしら石を待っていることに気が付いています。神に栄光を!父なる神様、私たちあなたが今すぐ人々を目覚めさせ、イエス・キリストとお互いへの敬虔な愛と敬意をもって私たちを集めて下さいますように祈ります。

85 今夜ここにあなたの中に休む希望のないものがあるなら、あなたは神に手を挙げて、「神様、私とあなたを団結させ、私とあなたを団結させてください」と言いませんか?神の祝福がありますように、兄弟。神はあなたを祝福します、あなたそうあなたです。はい。「主よ、あなたと私を結びつけてください。」はい!ああ、何と素晴らしい!

国家は崩壊し、イスラエルは目覚め、

一緒になってイスラエルを見てください。イスラエルは世界中から集結しました。彼ら自身を団結させるためにそして今、彼らは国家です。彼らは統一された国です。彼ら自身の旗、自分のお金、自分の軍隊、すべてを持ちます。彼らがかつてあったならば、彼らは今そうあるのです。イスラエルは団結し、ローマは団結し、教会は団結しています。そして花嫁は団結しています、アーメン。そしてその大連合の到来。それは何ですか？それはすべてそのしるし、その主要な資本のしるし、イエスと彼の花嫁が一つになって団結するところまで進んでいます。

86 父なる神様、私がこれらの人々に求めるこれらの祝福を与えてください。そして彼らが手を上げて、それを望んでいるとき、私たちは心と霊の中であなたと団結しますように。主なる神よ、私たちを清めてあなたのものにしてください。主よ、それを認めてください。それが私たちが知っているすべてのことであり、尋ねられる全てなのです。そして、あなたは、私たちがそれを尋ねてそれを信じたら、それを受け取るべきだと言われました。主よ、私はそれを探しているのです。イエス・キリストの御名によって感謝します。アーメン。

愛しています、彼を愛しています。  
 彼が初めに私を愛してくれたから、  
 そして私の救いを買ってくれた  
 カルバリーの木の上で。(アーメン、オー素晴らしい!)  
 見よ、花婿がやって来られる!  
 真夜中の叫び声が聞こえます!  
 みんなでしがみついて、私たちは叫び声をあげます  
 そして空中で主に会うのです。  
 見て、祈ってください、私の兄弟、  
 誰かがあなたの冠を奪わないように、  
 生温いくて背教している者は  
 結婚式の礼服を着ることはない。

87 そうなのです。この真夜中の叫びに備えましょう。その時でないあなたが思っている時にそれは一時間でやって来るのです。不信仰者達の世界の中にはないところで、叫びがあるでしょう。それは秘密なのです。しかし、これを探している信者たちのために、あなたは星が並んでいるのを見えていますか？分かりますか？それは何を生み出しましたか？初めてのときとまったく同じように。ほら、ここに来て、その印が来ています。

私たちは彼の祝福された到来のしるしが現れるのを見えています、  
 見よ、今はイチジクの葉が緑色になっているの見よ。  
 御国の福音はすべての国に行きました。  
 そして、私たちは近くにいて、終わりが見えているのです。  
 それから、喜んで、離れて、私たちは彼が祝福されたメッセージとして彼の到来を告げ知らせるのです。

88 そうですか？彼の幸いなる現れのメッセージを先に告げ知らせるのです！それが私たちがしなければならないことです。「準備をして、神に会う準備をしてください」と皆に告げなければ。アーメン！私は彼を愛しています。ああ、どれほど彼を愛しているか。さあ、今、立ち上がりましょう。私たちがお互い乞いあい、周りに手を伸ばして誰かと握手して、言ってください：

また会う日まで！（今、握手）…また会う日まで！  
 イエスの足元でまた会う日まで。  
 また会う日まで！…

覚えておいてください、あなた方に呼び出しがあるかもしれません。私たちの次の集会は彼の足元であるかもしれません。

また会う日まで、神共にいまして！

89 さて、また会う日になる前にただ考えてみてください。日曜日の朝、または水曜日の夜に会う前に、それは…あなたが知っている最初のこと、誰かがいなくなることがあるかもしれません。この人は行方不明で彼らは死んでしまった。ああ、夫がいない、または妻がいない、そしてジョンの妻がいない、そしてここでそして子供たちが行方不明である考えてみて下さい。すべてが起こりました(何が起こったのですか？)そして、あなたは取り残されます！

ああ、失われた者たちが彼らの運命を告げられたとき、何と泣き悲しむだろう、  
 彼らは岩や山々に叫びました(イスラエルのように、都に戻って神殿に戻りました)。

彼らは祈りましたが、彼らの祈りは遅すぎました。(彼らはメッセージを拒否しました。)

ああ、兄弟、決してそれをしないでください。何をするにせよ、大義に勇敢に立ち向かいなさい!はい、そうします!

90 今、私たちが会うまで、これを行います:  
 イエスの御名をお持ちください、  
 すべての問題からの盾として;  
 誘惑があなたを取り巻くとき、(あなたは何をしますか?)  
 祈りの中でその聖なる御名で呼吸するのです。  
 なんて優しい尊い名!  
 地の希望、天の喜び。  
 なんて優しい、尊い名!  
 地の希望 天の喜び。

ハミングをするにあたり、さあ、頭を下げましょう。  
 イエスの御名によって頭を下げましょう。  
 彼の足元にひれ伏し、  
 天の王の王が彼に冠を  
 私たちの旅が終わったとき。(いつかそうなるとき。)  
 なんて優しい、尊い名 尊い名

また会う日まで、神共にいまして、  
 地の希望 天の喜び。  
 なんて優しい、なんて優しい、尊い名!  
 地の希望 天の喜び。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

伝道者  
 ウィリアム・マリオン・ブランナム  
 "...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7